株式会社フコク(東証プライム:5185)
2025年5月28日

決算説明会

2025年3月期

Yes, We Do!

Copyright © Fukoku Co., Ltd.
All Rights Reserved.

Agenda

1. 決算のポイント
2. 2025年3月期実績
3. 2026年3月期業績予想
4. セグメント別・地域別の状況
5. 株主還元
6. 「新中期経営計画2026」取組み状況

 Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

1.　決算のポイント

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

1.　決算のポイント

2025年3月期実績

売上高は、自動車メーカーの生産台数伸び悩みの影響を受けるも、インド、中国の売上伸長及び為替の影響により **増収**

営業利益は、資源価格高騰による原材料費上昇等の影響を受けるも、合理化や変動対応等により **増益**

2026年3月期予想

雇用・所得環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復が続くと見ている一方、不安定な国際情勢や物価上昇、金融資本市場の変動リスク等の傾向が続くことが想定されることにより**減収**。一方、営業利益は、収益性及び生産性の向上に注力し、**過去最高益を目指す**。

尚、米国の関税措置が当社の事業及び業績に与える影響については、現時点では合理的に見積もることが困難であることから、業績予想には織り込んでおりません。

配当

2025年3月期の期末配当金は37.5円。中間配当金37.5円と合わせた年間配当金は75円

2026年3月期の年間配当金予想は85円**（前年比＋10円）**を計画

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2025年3月期実績

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2025年3月期実績

業績概要（連結）

（単位：百万円）

	2024年 3月期 実績	2025年 3月期 実績	前年増減額	前年増減率
売上高	88,847	89,657	+810	+0.9%
営業利益 （売上高対営業利益率）	3,646 (4.1%)	4,721 (5.3%)	+1,075 (+1.2pp)	+29.4%
経常利益 （売上高対経常利益率）	4,094 (4.6%)	4,569 (5.1%)	+475 (+0.5pp)	+11.6%
当期純利益 （売上高対当期純利益率）	3,050 (3.4%)	2,931 (3.3%)	△119 (△0.1pp)	△3.9%

※pp＝パーセンテージポイント

原材料費等高騰や一過性の費用増加影響を、合理化・売価反映等で吸収

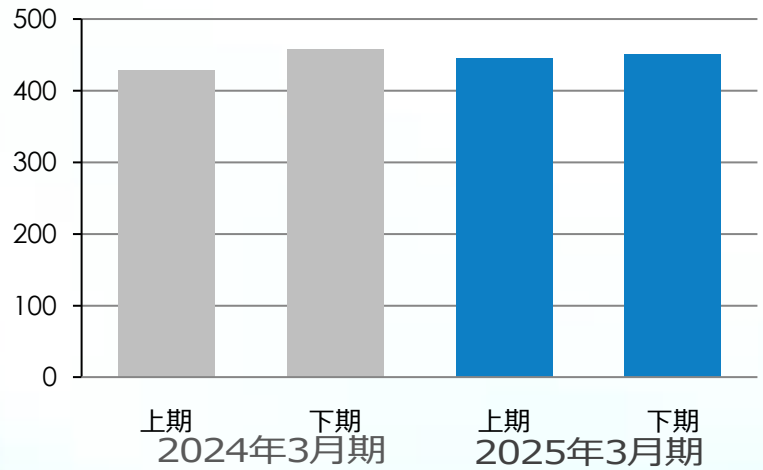
Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2025年3月期実績

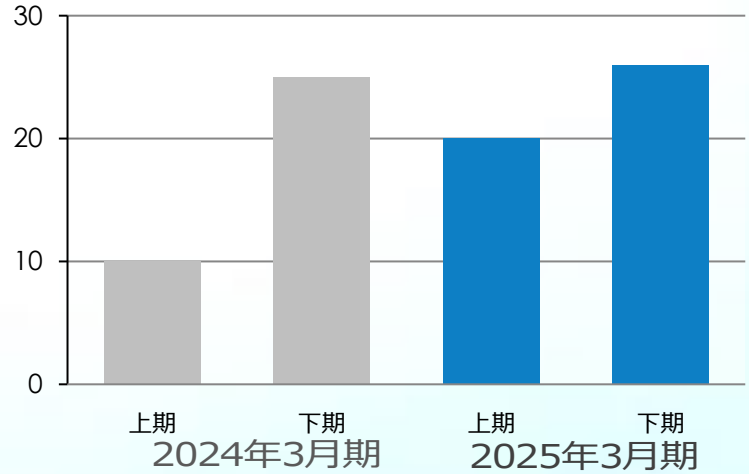
実績推移　（連結・半期）

（単位：億円）

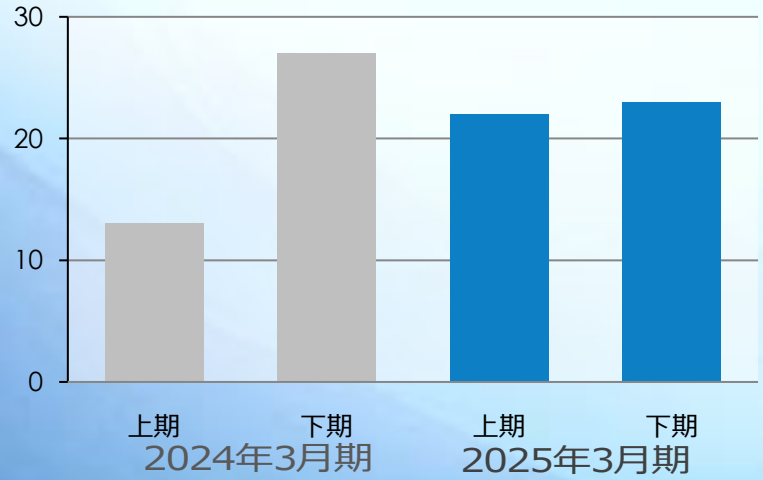
売上高



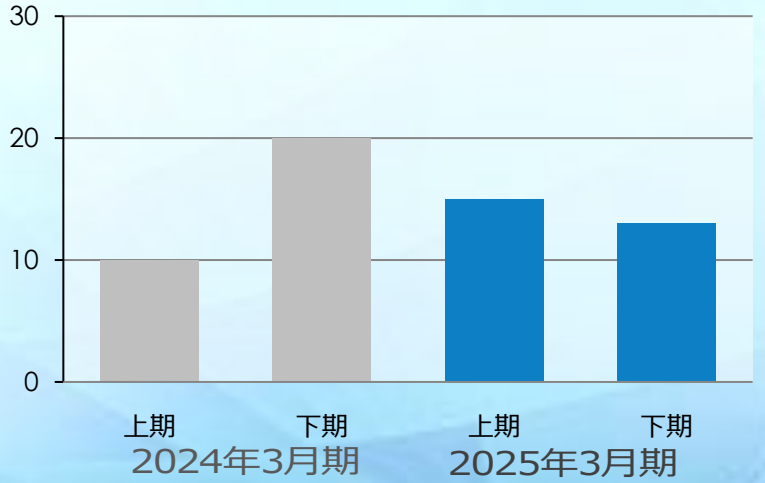
営業利益



経常利益



純利益

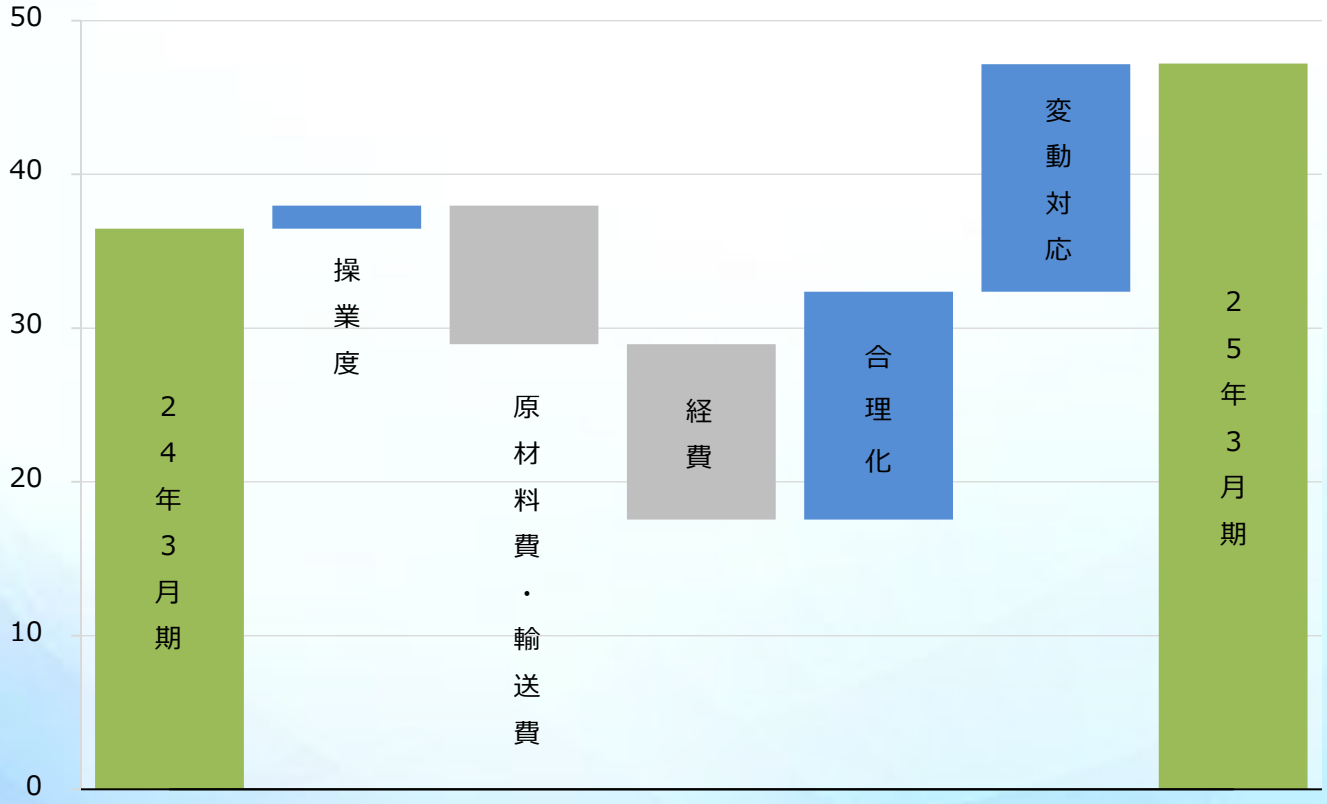


Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　2025年3月期実績

差異要因_連結営業利益（前年比）

（単位：億円）



Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2． 2025年3月期実績

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前年増減額
現金及び預金	12,011	12,422	411
受取債権	20,591	20,211	△ 380
棚卸資産	11,427	11,562	134
その他流動資産	1,686	1,401	△ 285
流動資産計	45,718	45,597	△ 120
有形固定資産	26,695	29,000	2,304
その他固定資産	3,619	4,804	1,184
固定資産計	30,315	33,804	3,488
資産計	76,033	79,402	3,368
借入金	11,525	12,552	1,027
支払債務	12,330	9,527	△ 2,803
その他流動固定負債	10,167	11,385	1,218
負債計	34,023	33,465	△ 557
株主資本計	34,780	36,592	1,811
非支配持分	2,472	2,662	189
その他	4,757	6,682	1,925
純資産計	42,010	45,936	3,926
負債･純資産計	76,033	79,402	3,368

- 前期と比較し円安下での為替換算の影響や固定資産の取得により資産増加
- 前期末が金融機関休日のため、未決済の支払債務が含まれており、前期比で減少

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績
税前利益	4,093	4,453
減価償却費	4,653	5,038
売上債権の増(△)減(+)	△ 122	1,375
棚卸資産の増(△)減(+)	122	268
仕入債務の増(+)減(△)	213	△ 3,120
その他	△ 118	△ 1,383
営業活動によるＣＦ	8,843	6,631
有形固定資産の取得	△ 4,027	△ 5,801
その他	△ 438	△ 33
投資活動によるＣＦ	△ 4,466	△ 5,835
借入れによる収入	2,055	3,859
借入金の返済による支出	△ 3,934	△ 3,248
その他	△ 902	△ 1,251
財務活動によるＣＦ	△ 2,781	△ 640
フリー･キャッシュ･フロー	4,377	796

- 有形固定資産の取得による積極的な投資
- 仕入債務の減少は前期末の金融機関休日によるもので影響は一時的

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

3.　2026年3月期業績予想

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

3.　2026年3月期業績予想

業績予想（連結）

（単位：百万円）

	2025年 3月期 実績	2026年 3月期 予想	前年増減額	前年増減率
売上高	89,657	**88,000**	△1,657	**△1.8%**
営業利益 （売上高対営業利益率）	4,721 (5.3%)	**5,000** **(5.7%)**	+279 (+0.4pp)	**+5.9%**
経常利益 （売上高対経常利益率）	4,569 (5.1%)	**5,000** **(5.7%)**	+431 (+0.6pp)	**+9.4%**
当期純利益 （売上高対当期純利益率）	2,931 (3.3%)	**3,500** **(4.0%)**	+569 (+0.7pp)	**+19.4%**

※pp＝パーセンテージポイント

為替影響等を背景に売上減を見込む中、合理化や費用削減を進め、増益を計画

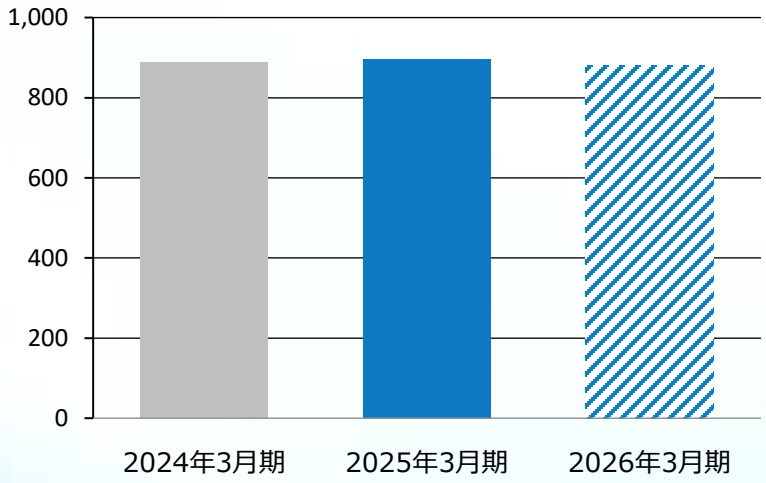
Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

3.　2026年3月期業績予想

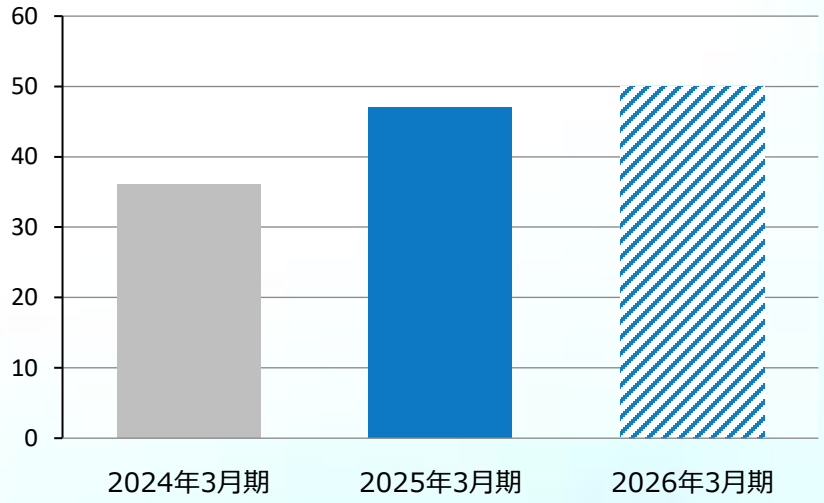
予想推移　（連結）

（単位：億円）

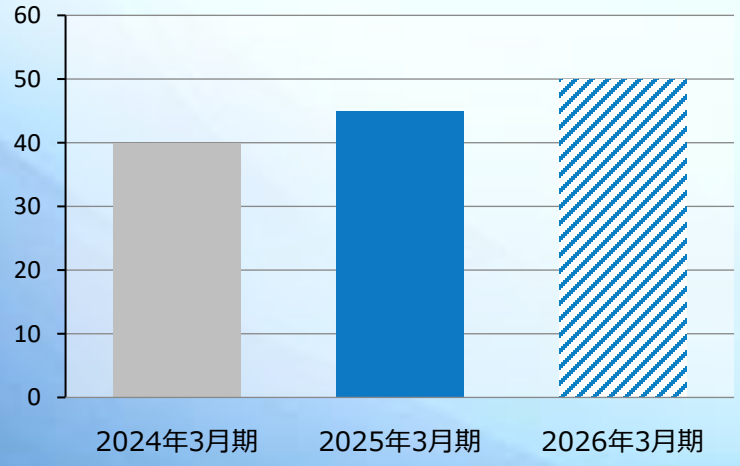
売上高



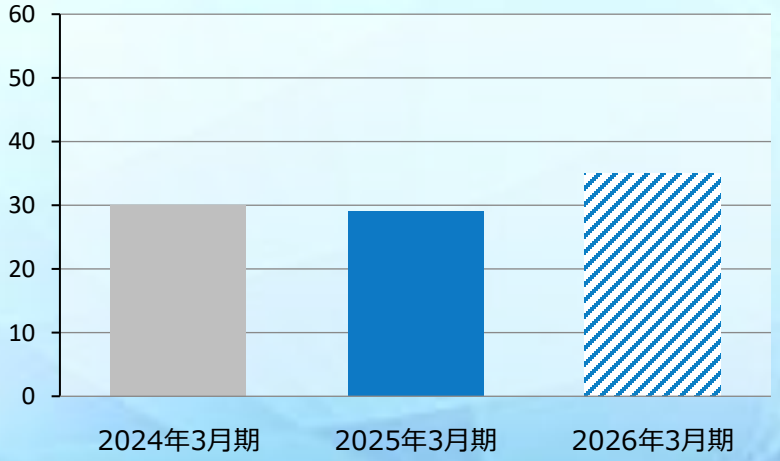
営業利益



経常利益



当期純利益

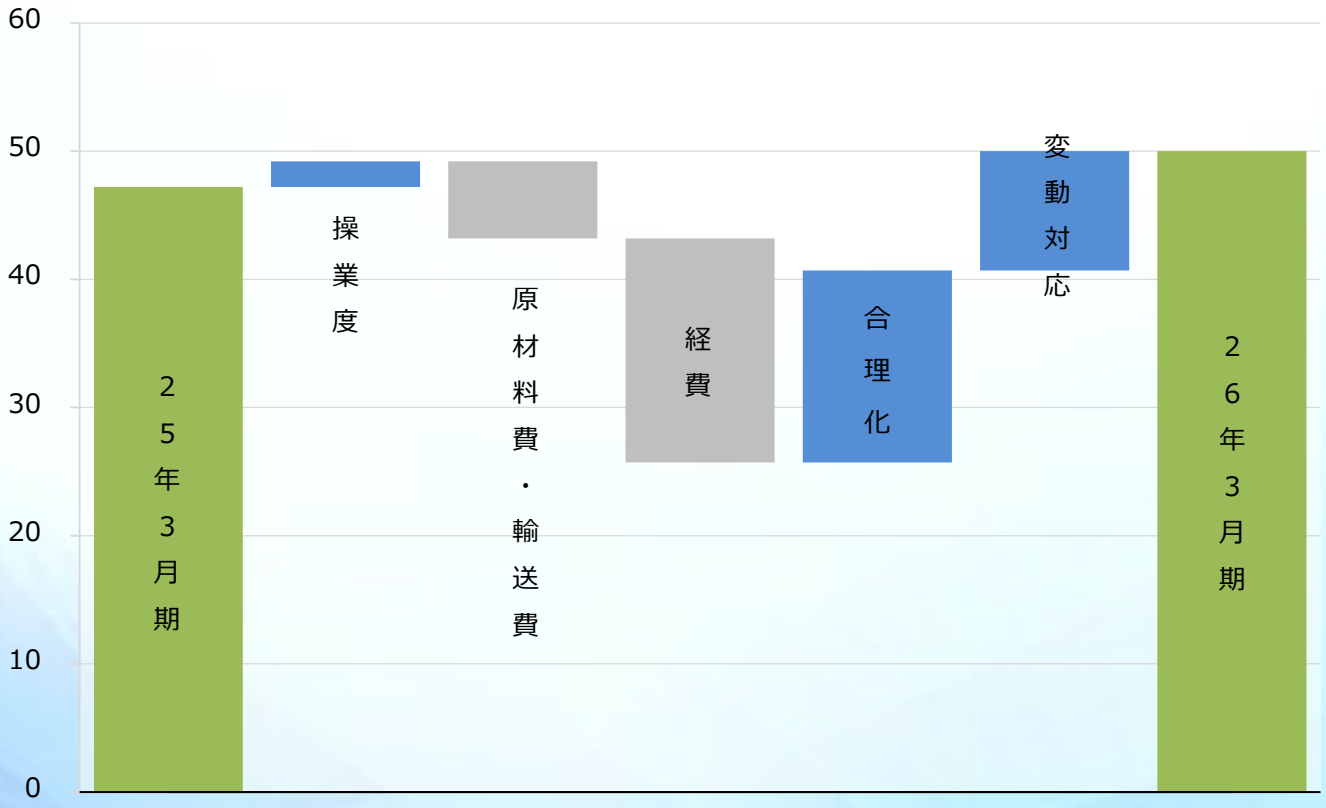


Copyright © Fukoku Co., Ltd.　All Rights Reserved.

3.　2026年3月期業績予想

差異要因_連結営業利益（前年比）

（単位：億円）



Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

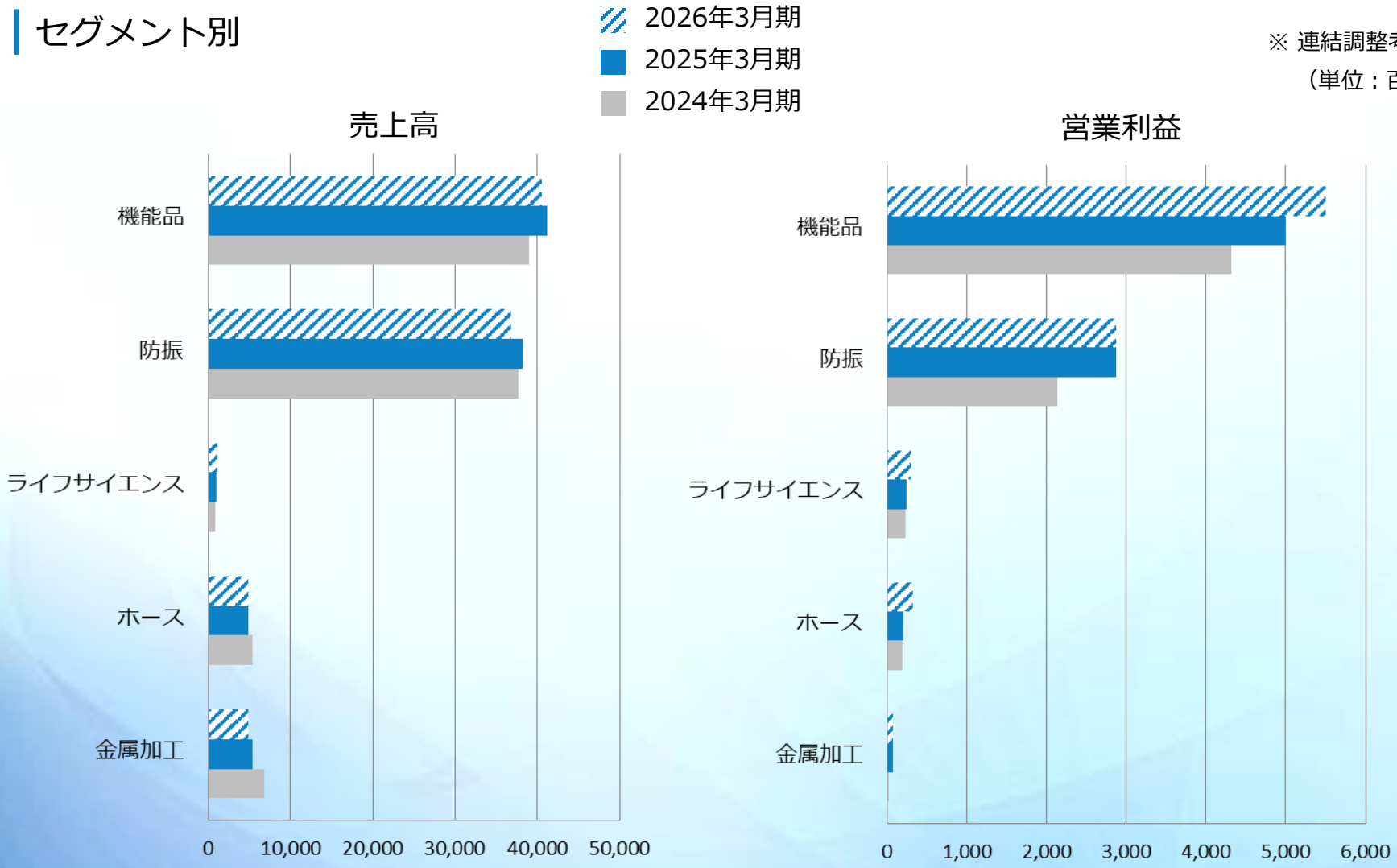
4.　セグメント別・地域別の状況

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

4. セグメント別・地域別の状況

セグメント別

※ 連結調整考慮前
（単位：百万円）



25年3月期は全セグメントで増益達成。26年3月期も増益基調

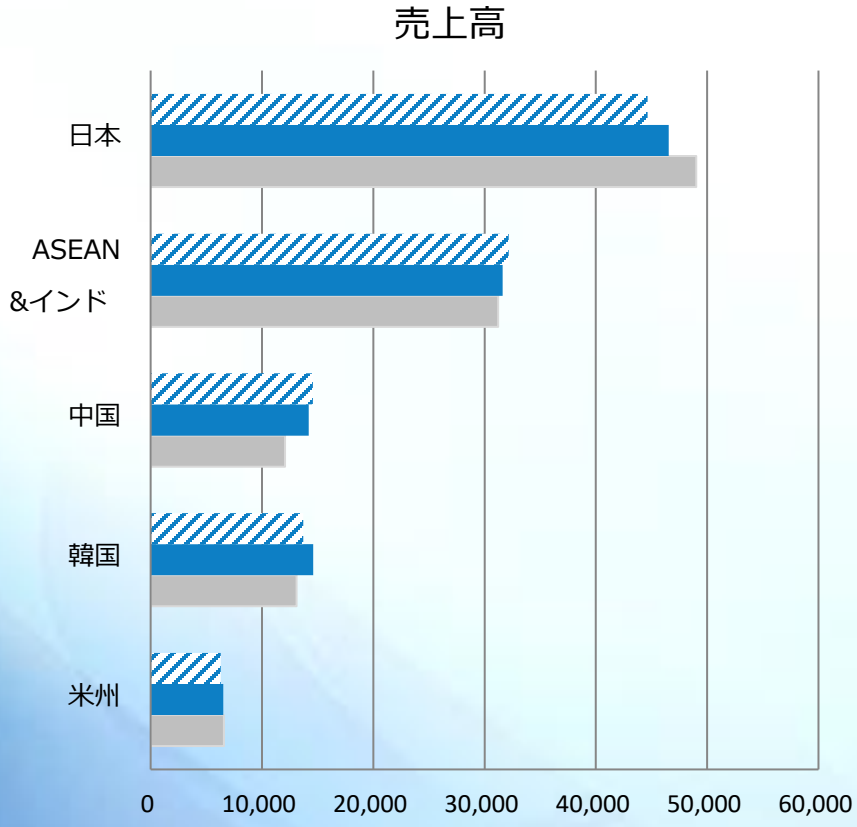
Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

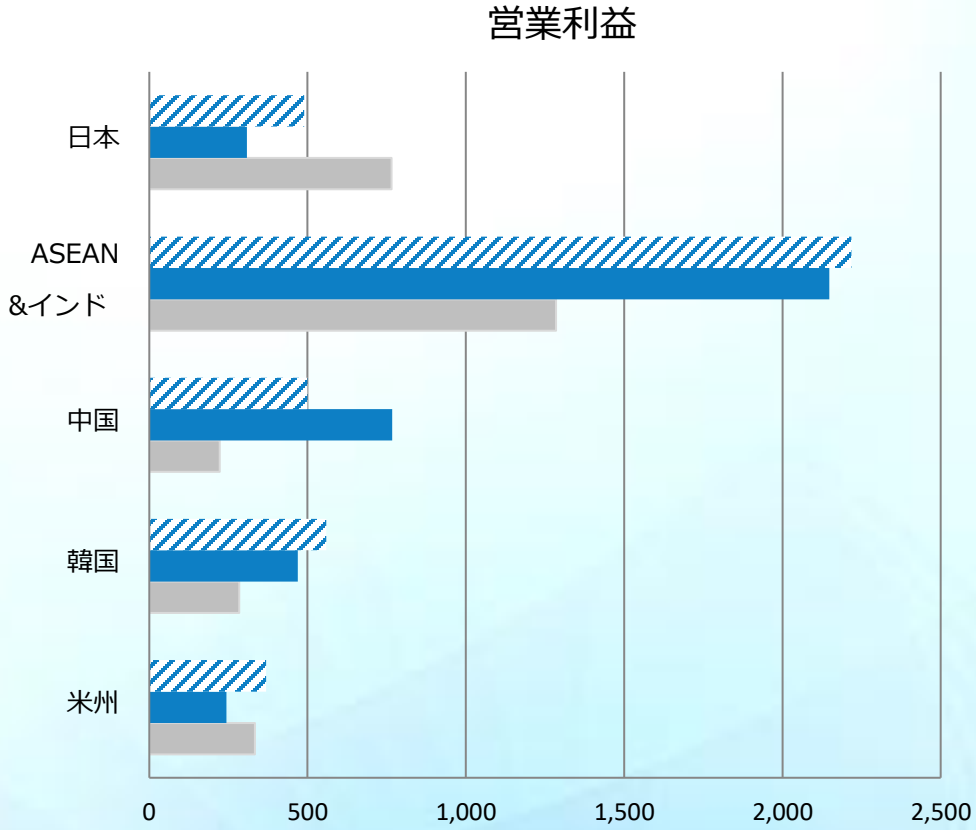
4. セグメント別・地域別の状況

地域別

2026年3月期
2025年3月期
2024年3月期

※ 連結調整考慮前
（単位：百万円）





26年3月期は市場成長力のあるASEAN＆インドを主に、増益基調

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

5.　株主還元

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

5. 株主還元

株主還元の考え方（配当政策の基本方針）

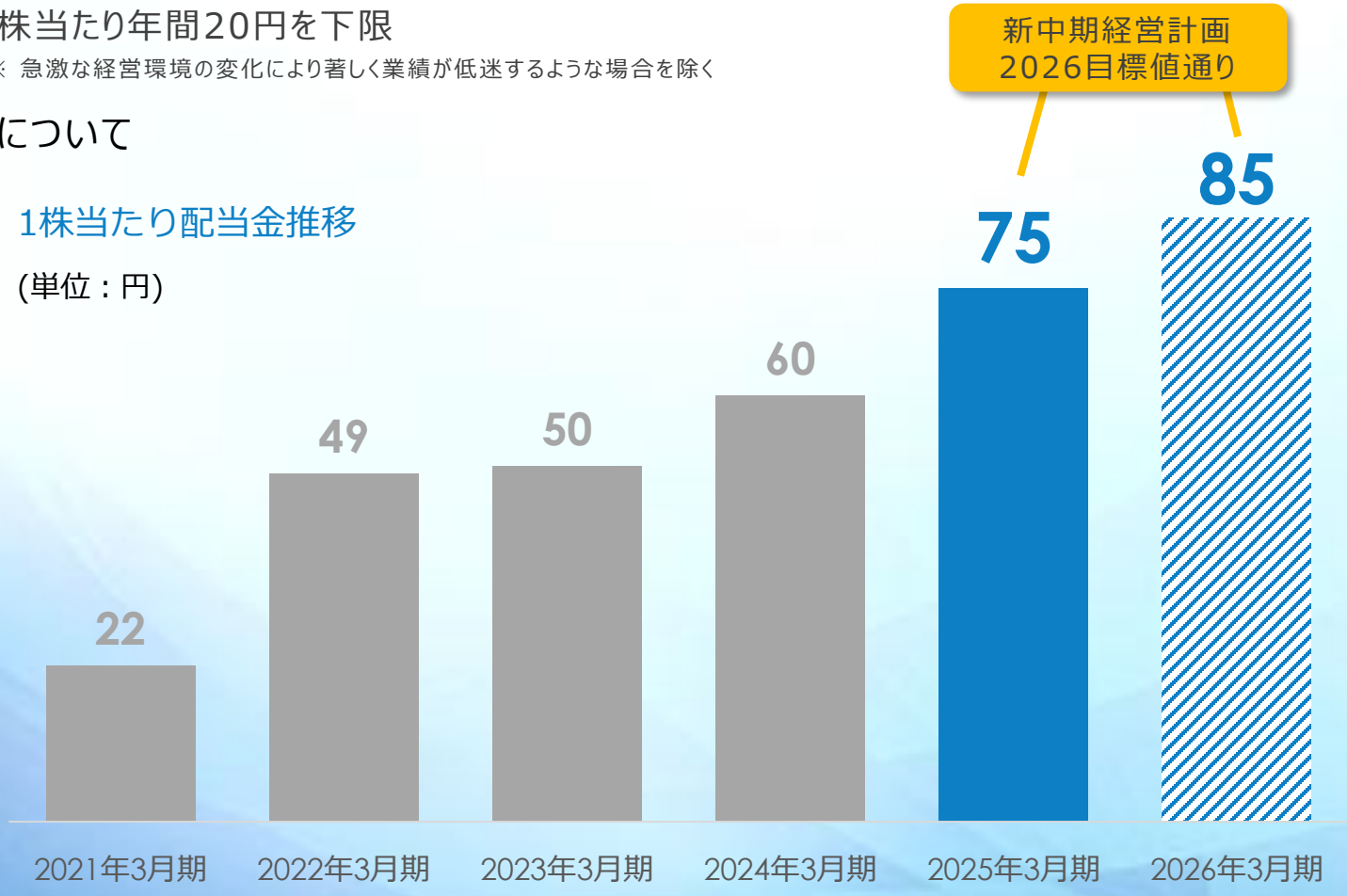
- 連結配当性向30%を目安とした安定配当を継続
- 1株当たり年間20円を下限

※ 急激な経営環境の変化により著しく業績が低迷するような場合を除く

配当金について

1株当たり配当金推移

(単位：円)



Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

6.　「新中期経営計画2026」取組み状況

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

6.　「新中期経営計画2026」取組み状況

既存事業の強化

ソリューションビジネスによる拡販

- シミュレーション設計
  ～実車評価技術/中国Ｒ＆Ｄ強化
- インドＲ＆Ｄ機能設置

強い成長地域への拡販

- インド・インドネシアでの技術・生産体制強化

ものづくり力変革と人材育成強化

- 革新的工法の構築／自動化／IoT導入
- グローバル人材育成の強化

成長事業・新事業の拡大

インダストリアル向け製品等の拡大

ファクトリーオートメーション	精密シールの開発/量産体制の確立
新エネルギー	水素燃料用シール・風力発電用着雪防止コートの開発
航空/宇宙	防振マウントの開発

CASE市場への拡大

バッテリー	・進化し続けるEV製品用ホールドシートの開発・拡販 ・放熱ギャップフィラー・大型電池用防振製品の開発・拡販

ライフサイエンス製品の拡大

バイオ	細胞培養バッグ・培地、化粧品原料
細菌検査	薬剤耐性菌検査チップの量産体制確立、拡販

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

6.　「新中期経営計画2026」取組み状況

既存事業の強化 －ソリューションビジネスによる拡販

従来

ワイパー事業では顧客からの高い払拭性能要求に応えるため
ラバーの最適形状を提案

ソリューションビジネス力強化

中国にテクニカルセンター設立　　実験施設の拡充

現在

ラバーの最適な動きを科学し、その動きに影響を与える
システム側の構成部品の設計仕様までを提案
＝ワイパーシステム開発期間の大幅な短縮を実現

顧客の拡販に貢献

より多くの車種の受注を獲得
中国市場における拡販に成功
EV市場での拡販を推進中

OEMグローバルシェア

Copyright © Fukoku Co., Ltd.　All Rights Reserved.

6. 「新中期経営計画2026」取組み状況

既存事業の強化 ー強い成長地域への拡販（インド）

テクニカルセンター稼働

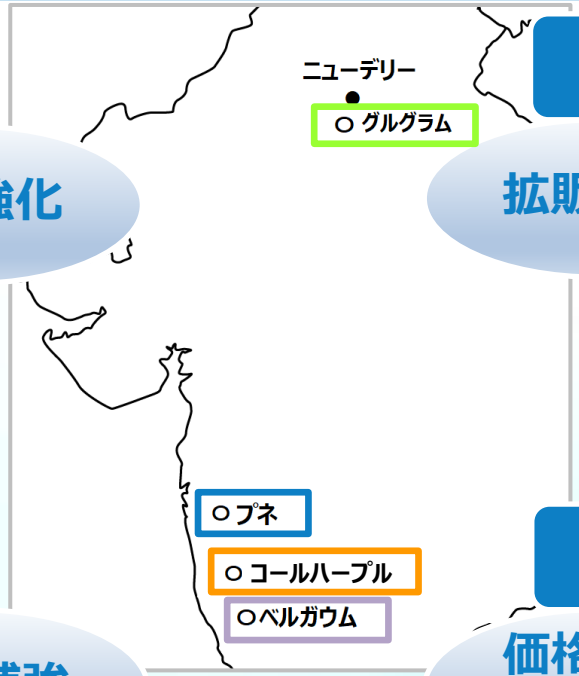
プネ工場テクニカルセンター

R&D強化

営業所の本格稼働

拡販推進

グルグラム営業所（稼働）



現地企業との業務提携

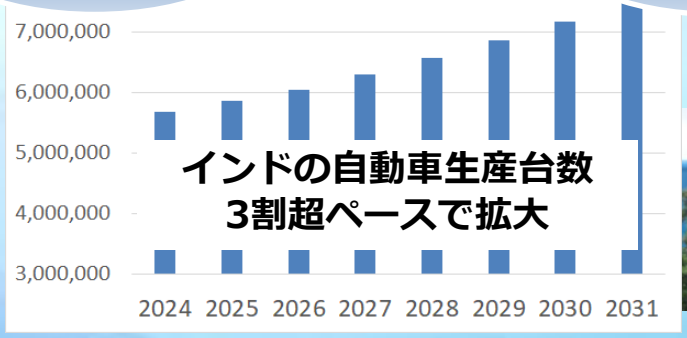
インド防振ゴム製品メーカー
「Innova Rubbers Private Limited」

弱点補強

鋳物の内製化推進

価格競争力強化

ベルガウム鋳物工場



コールハープル鋳物工場

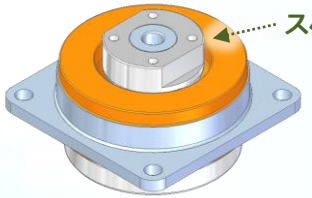
Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

6.　「新中期経営計画2026」取組み状況

成長事業・新事業の拡大

宇宙（防振技術）

衛星用アイソレータ
先進レーダ衛星「だいち4号」に採用



センサー類への振動の伝達を絶縁

ファクトリーオートメーション（材料、接着技術）

産業機械用精密シール量産開始

空気、ダスト等のシール製品

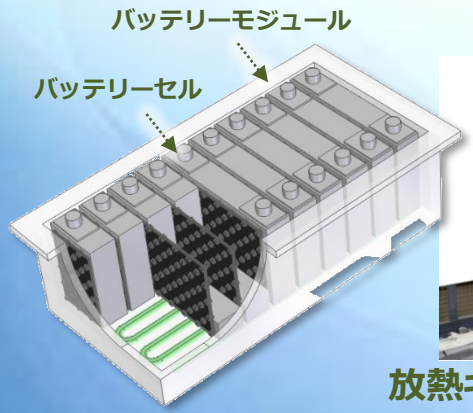
新エネルギー（コーティング技術）

着氷防止コート開発

風車に着氷した氷を早期に剥がし、発電効率向上、氷塊の落下防止

技術提案型ソリューションビジネスで、様々な分野に展開

CASE市場（材料開発技術）



放熱ギャップフィラー量産開始

熱を効率的に逃がし性能向上に貢献

航空（接着技術）

ジェットエンジン向け製品量産開始

エンジン内の気流を整流化

農業機械（防振技術）

小型電動農業機械用バッテリー保持機構開発中

CASE市場への拡大

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

6.　「新中期経営計画2026」取組み状況

成長事業・新事業の拡大

ライフサイエンス製品の拡大

バイオ　**細胞別培地、用途別バッグの拡充推進**

iPS細胞での培養開発に使用するSphereRing® を開発

細胞培養培地

細胞培養バッグ

アカデミアとの共同研究推進

大阪大学、金沢医科大学と共同研究

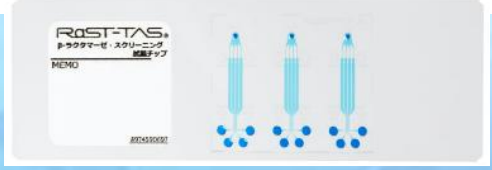
SphereRing®（スフェアリング）

細菌検査　**薬剤耐性菌検査チップの量産体制確立、拡販**

腸内細菌の検査効率を飛躍的に向上

保険適用取得、医療現場への本格展開を目指す

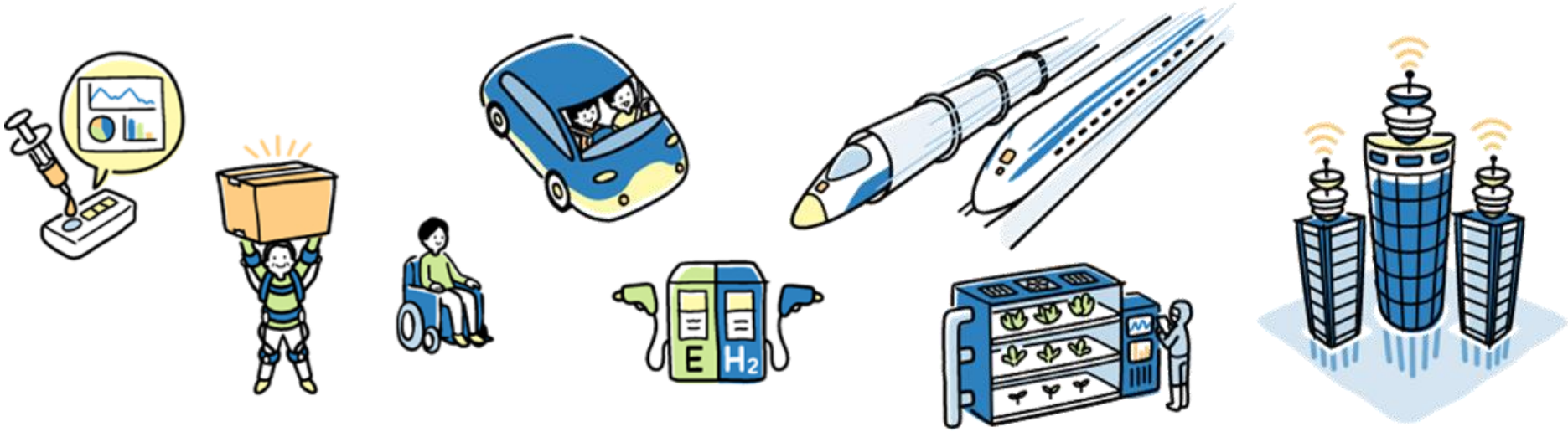
検査チップ



Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

FUKOKU

あらゆる願いを、感動に変える。



FUKOKU

Yes, We Do!

注意事項

- 本資料には、株式会社フコクおよびそのグループ会社の戦略、経営計画等の将来予測に関する記述を含んでいます。本資料における記述のうち、過去又は現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現時点において入手可能な情報に鑑み株式会社フコクおよびそのグループの仮定および判断に基づくものであり、その性質上、これらにはリスクや不確実性を内在しております。従って、当社を取り巻く事業環境、将来の業績、経営結果等と異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

- 本資料に記載されている将来予測に関する記述は、本資料作成日現在時点のものであり、当社はそれ以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

2025年5月28日　株式会社フコク

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

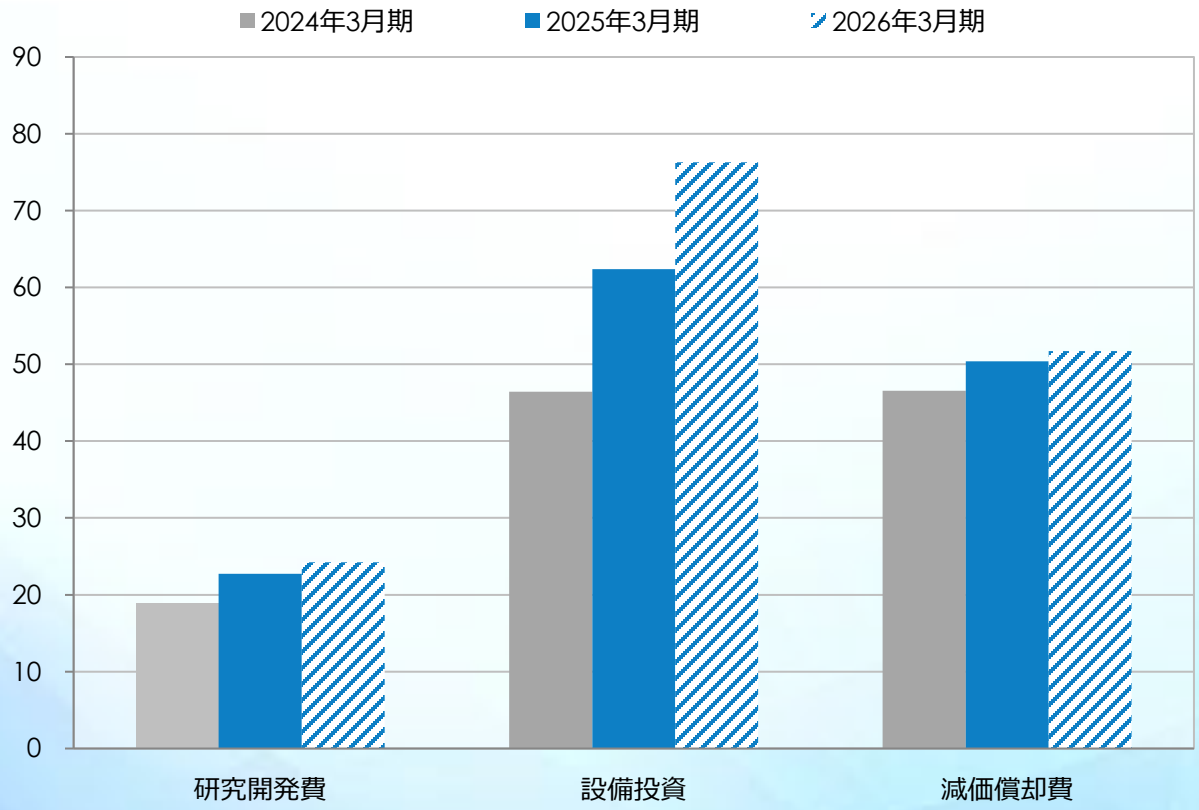
Appendix

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

1.　研究開発費、設備投資、減価償却費

研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)



Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　会社概要

会社概要　FUKOKU 株式会社フコク

事業概要	ゴム製品、金属・合成樹脂製品、 OA・電子機器・医療用具の製造販売　等
証券コード	東京証券取引所　プライム市場（5185）
設立	1953年
本店	埼玉県上尾市
代表者	代表取締役社長　大城 郁男
従業員数	連結 4,523名、単体 1,163名（※）
株主数	19,236人（※）
拠点・ 関係会社	・フコク単体 ： 5工場、3事業所 ・関係会社 - 連結子会社 ： 国内2社、海外14社 - 持分法適用会社 ： 海外1社

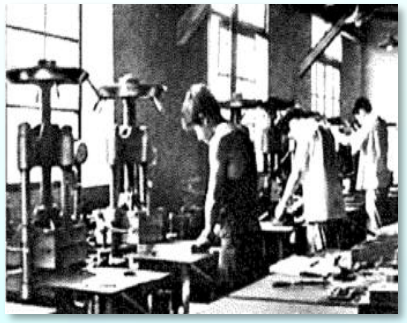
※ 2025年3月31日現在

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　会社概要

沿革

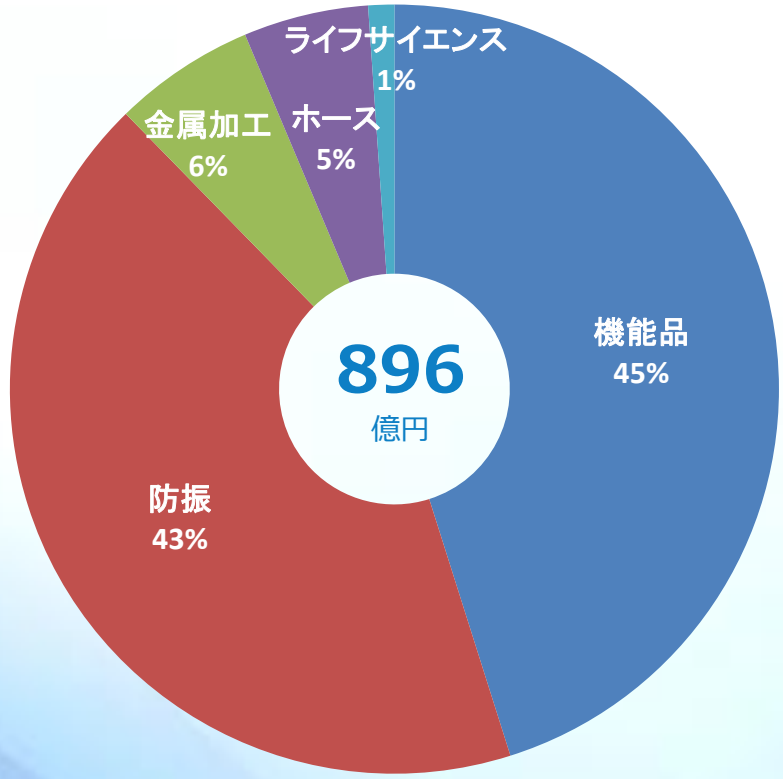
1953年	12月	**創業者の河本 栄一が、富国ゴム工業株式会社を設立**
1956年	4月	**ワイパーブレードラバーの技術開発に成功**
1972年	9月	末吉工業株式会社に資本参加
1983年	1月	**タイ国バンコク市に合弁会社タイフコク株式会社設立**
1986年	1月	株式会社フコクに商号変更
1994年	10月	日本証券業協会に株式を店頭登録
1996年	2月	株式会社東京ゴム製作所に資本参加
2004年	3月	東京証券取引所 市場第二部に上場
2005年	3月	東京証券取引所 市場第一部に上場
2020年	6月	**経済産業省より『2020年版グローバルニッチトップ企業100選』に当社が選定**
2022年	4月	**東京証券取引所　プライム市場へ移行**
2023年	6月	**大城 郁男が代表取締役社長に就任**



Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　会社概要

事業別売上（2025年3月期 連結）



機能品

ワイパーブレードラバー

等速ジョイント用
樹脂ブーツ

ダイヤフラム

防振

ダンパープーリー

V-ロッド

ビスカスマウント・
キャブサスマウント

金属加工

建機用ドアカバー

ホース

インタークーラーホース

ウォーターホース

ライフサイエンス

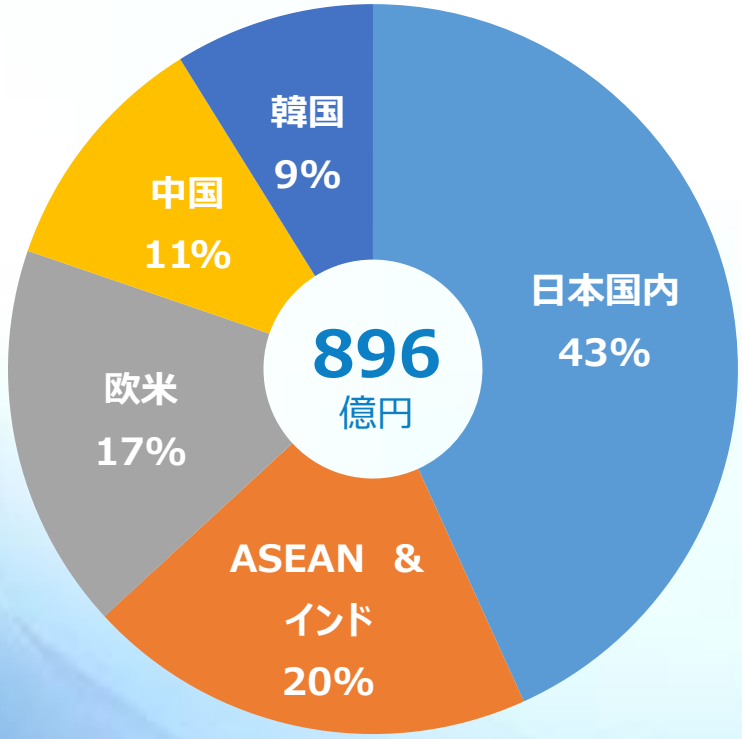
培養バッグ・培地

検査用チップ

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　会社概要

地域別売上（2025年3月期 連結）



※顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております

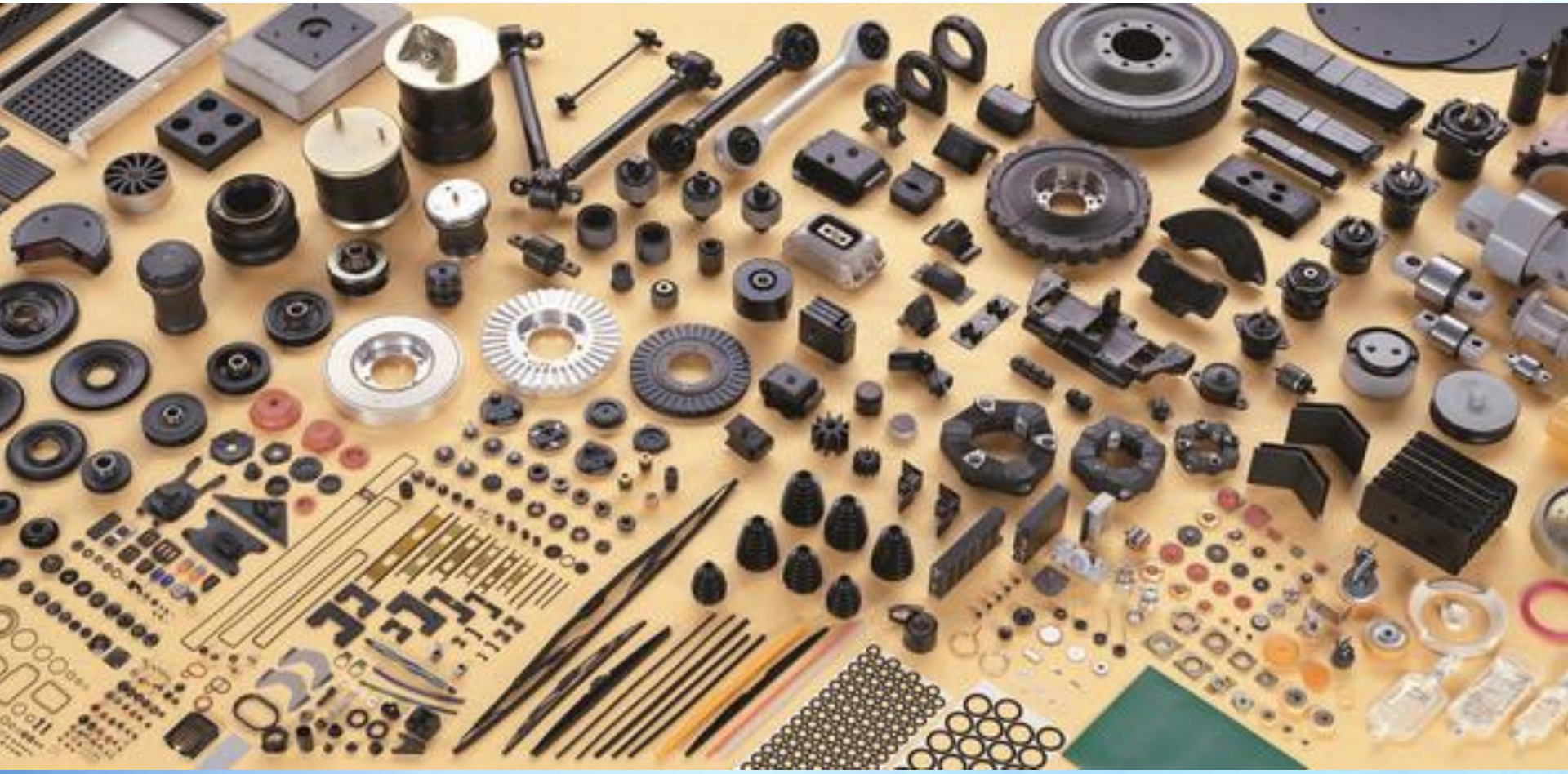
グローバルネットワーク

日本 1953年	インドネシア 1997年	インド 2010年
タイ 1983年	アメリカ 2001年	ベトナム 2011年
韓国 1987年	中国 2001年	メキシコ 2014年

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2.　会社概要

当社の特徴 ： 多種多様な製品を生産販売



Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 会社概要

高シェア製品

世界シェア※（%）

※当社推計

■ 自動車分野

ワイパーブレードラバー

国内シェア **90%以上**

50%

クランクシャフトダンパー

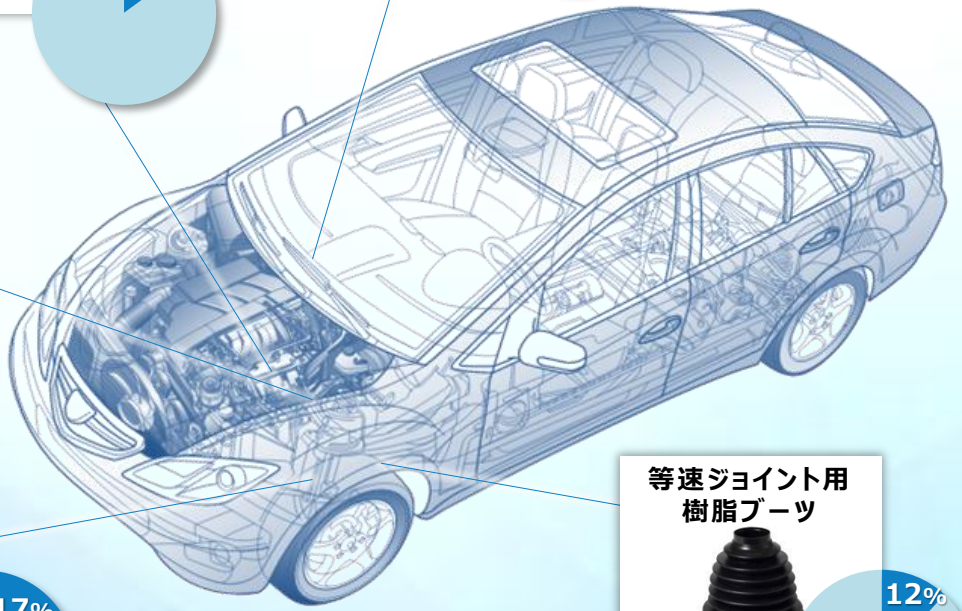
15%

ダイヤフラム

30%

ピストンシール

17%



等速ジョイント用樹脂ブーツ

12%

■ 他分野

ビスカスマウント（建機用）

70%

細胞培養バッグ

35%

インゴットワイヤーソーメインローラー

30%

ニッチな分野で高シェア製品を数多く輩出

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.

表彰関連 ： グローバルニッチトップ企業100選

（2020年6月）

経済産業省より、国際市場開拓に取り組む企業のうち
ニッチ分野で高シェアを確保し良好な経営を
実践する企業として

「**2020年版経済産業省**
グローバルニッチトップ企業100選」に
選ばれました！

以下審査基準を基に、外部有識者で構成する選定評価委員会の審議を経て選定。

1. 世界シェアと利益の両立
2. 技術の独自性と自立性
3. サプライチェーン上の重要性

Copyright © Fukoku Co., Ltd. All Rights Reserved.